



車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【平成30年12月号④】

受験生、この休みを有効に！

《重点目標》『品格を高め、目標に向かってねばり強く取り組もう』

『もうすぐ師走も終わり、休み中も気を付けて』

今年も残すところ、あと1週間足らずとなりました。お子さんと、「この1年間でどれだけ成長できたか」と一緒に振り返ってみることが大切です。三者面談での話などを参考にされて、この1年の学校・家庭生活を振り返り、新しい年への抱負に反映させてほしいです。3年生は進路の実現に向け、学習にも力が入っていることと思います。また、学校では、今年度の学校経営の反省を始めております。過日は、お忙しい中、保護者の皆さまに学校評価のアンケートにご協力いただき感謝申し上げます。

22日(土)から、いよいよ子供たちが待ちに待った冬休みに入ります。事故なく安全に過ごしてほしいと願っています。そのために、以下の点について、ご家庭でも十分にご配慮いただきたくお願い申し上げます。

●「自転車を運転するとき」

今年は、市内の小中学校の児童や生徒の交通事故が数件発生し、自転車の危険な乗り方に対する心配の声があがっており、校内でも繰り返し注意をしているところです。

4月から、大けがに至る交通事故の報告がなく、保護者・地域の方々の見守りのおかげと感謝しております。しかし、ちょっとした不注意から、車との接触もありました。これから雪や路面の凍結の季節に向かいますので、さらに交通事故に注意を払っていただきたいと思います。

- (1)横断や進路変更、狭い道路から広い道路へ出る時は、必ず一回止まって安全確認する。
- (2)雪が降っている時、道路に雪がある時は、自転車には乗らない。
- (3)自分が気を付けていても事故にあうことがあります。自転車でも歩いている時、車には十分注意し、常に「車が来るかもしれない。」という気持ちで通行する。

●「外出するとき」

冬期間は、日暮れの時刻が早いために早めに帰宅すること、行き先・帰宅予定時刻・同行者の確認を必ずしてください。そして、「本校の注意事項や各家庭のルール」に照らし合わせ、許容できることなのかどうかを親子で話し合ってください。

♪ アンサンブルコンテスト 金賞 ♪

12月9日(日)、ゆめはっとなて、第46回県アンサンブルコンテスト相双支部大会が開催され、本校から3チーム、中学校全体で22チームが参加いたしました。3チームとも2年生や1年生と心を合わせ、素晴らしい演奏をいたしました。その中でも、「金管八重奏」の面々が、審査員それぞれから高い評価をいただき、堂々の金賞受賞、県大会出場の栄冠を獲得しました。そのメンバーは以下のとおりです。

大井 萌依、森 結那、相原 美友、太田 未来、
西畑 弥宮、岩崎 莉子、加藤 志歩、但野 若菜

●「早寝・早起きの継続」

時節柄、どうしても生活のリズムが不規則になりがちです。テレビ・ゲームなどでつい夜更かしをして睡眠時間が不足していることはありませんか。年越しなど遅くまで起きていることもあるかと思いますが、遅くまで起きているのが習慣にならないようにさせましょう。

●「家庭でできること」

寒い日々が続く、かぜやインフルエンザの流行が懸念されます。寒さや病気に負けず、元気がいっぱいがんばってほしいと思います。

- あいさつを元気にさせましょう。
- 具体的な目標を明確にさせましょう。
- 丈夫な体とやさしい心を養わせましょう。

●「非行防止のために」

お子さんが友達の家で遊ぶときのマナーはどうですか。あいさつはしていますか。勝手に部屋に入ったり、大切にしているものを触ったりしていませんか。お互いの家庭が気まずい思いをしないよう好ましい振る舞いができるように親子で話し合しましょう。なお、外泊はしないようご指導願います。

- (1)ゲームセンターやカラオケボックスなどには子供同士で入らない。
・不特定多数の人が出入りする所では、自分がどんなに気を付けていても、年上の人に声をかけられお金を盗られたり、トラブルに巻き込まれたりする危険性がいたるところに潜んでいます。
- (2)お金を遣う時には必ず家の人と相談する。高額のお金・私物を家の外に持ち歩かない。
・知らず知らずのうちに高額のお金を遣い金銭感覚が麻痺してしまったり、いろいろな刺激があり、つい万引きしてしまったりする心配があります。
- (3)インターネットやスマホ・携帯電話は、様々な危険性があることを認識し、保護者の厳重な管理のもと、使う時間やマナーなど保護者と約束事を話し合った上での使用が望まれます。

訂正とお詫び

学校だより12月号③に、県造形作品秀作審査会へ出品されている中から、作品を紹介しました。その中で、立体の部でロズハウスを森 玲那さんの制作としましたが、佐藤夕華さんでした。訂正お詫びいたします。また、森 玲那さんも、県へ出品しております。

